

みずほCustomer Desk Report 2019/10/03 号(As of 2019/10/02)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.73
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	107.75	1.0934	117.80	1.2294	0.6708
SYD-NY High	107.89	1.0963	117.99	1.2324	0.6719
SYD-NY Low	107.05	1.0905	117.34	1.2227	0.6670
NY 5:00 PM	107.18	1.0959	117.45	1.2298	0.6706
NY DOW	26,078.62	▲ 494.42	日本2年債	-0.3100	▲ 2.00bp
NASDAQ	7,785.25	▲ 123.44	日本10年債	-0.1700	▲ 2.00bp
S&P	2,887.61	▲ 52.64	米国2年債	1.4820	▲ 5.89bp
日経平均	21,778.61	▲ 106.63	米国5年債	1.4341	▲ 5.37bp
TOPIX	1,596.29	▲ 6.71	米国10年債	1.6001	▲ 3.43bp
シカゴ日経先物	21,365	▲ 335	独10年債	-0.5500	1.60bp
ロンドンFT	7,122.54	▲ 237.78	英10年債	0.4990	3.10bp
DAX	11,925.25	▲ 338.58	豪10年債	0.9630	▲ 6.40bp
ハンセン指数	26,042.69	▲ 49.58	USDJPY 1M Vol	7.24	0.34%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.08	0.26%
NY金	1,507.90	18.90	USDJPY 6M Vol	7.13	0.20%
WTI	52.64	▲ 0.98	USDJPY 1M 25RR	-1.54	Yen Call Over
CRB指数	172.94	▲ 1.14	EURJPY 3M Vol	7.40	0.20%
ドルインデックス	99.02	▲ 0.11	EURJPY 6M Vol	7.55	0.23%

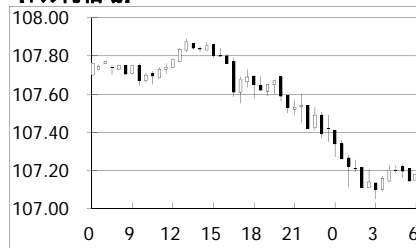
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月2日	17:30	英 マーケット建設業PMI	9月 43.3	45
	21:15	米 ADP雇用統計	9月 135k	140k

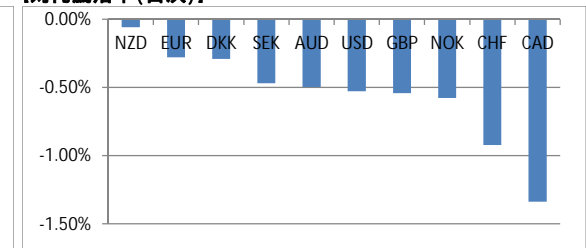
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月3日	10:00	日 布野審議委員 講演	-	-
	10:30	豪 貿易収支	8月 A\$6100m	A\$7268m
	15:45	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	8月 0.3%	-0.6%
	21:30	米 クォールズFRB副議長 講演	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 215k	213k
	23:00	英 テンレイロBOE委員 講演	-	-
	23:00	米 ISM非製造業指数	9月 55	56.4
	23:00	米 製造業受注/同(除輸送)(前月比)	8月 -0.2%/-	1.4%/0.3%
10月4日	01:10	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	02:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.90-107.90	1.0850-1.1000	117.00-118.00

【マーケットインプレッション】

米中の貿易摩擦が主因と見られる米国の経済指標の悪化やBrexitを巡る不透明感に加えて北朝鮮のミサイル発射の報もあり、米株は一時600ドルほど下落しており、リスクオフをテーマとした円買いがマーケットを支配している。一方で、トランプ大統領とすれば選挙前に政権一期めの成果を有権者にアピールしたいところであろうから、これからディール外交を強力に推し進めてくる可能性が高く、ディールに関連する何らかの発表があれば円売りの流れに戻る可能性は考えておきたい。

東京	東京時間の朝方は北朝鮮によるミサイル発射のヘッドラインが流れたものの、ドル円は大きく反応することなく、107.75レベルでオープン。日中は、本邦株式市場が反落するなか、動意の薄い展開に。同水準でのみ合い推移となり、107.80レベルでクローズした。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円はリスクオフから安全資産とされる円が買われた。107.80レベルでオープンし、昨日発表された米9月ISM製造業景況指数が2か月連続で50を割れたことから米景気先行き懸念が強まり、市場はリスクオフに転じたことから107.49まで下落した後、107.53レベルでNYへ渡った。ポンドドルは、1.2261レベルでオープン。英9月建設業購買担当者PMIが43.3と8月の45.0から低下したことを受け、英景況感が悪化し、一時1.2227まで売られた。その後、ジョンソン英首相が演説で「建設的で合理的な提案をEUに示す」と述べたことから、合意なき離脱が避けられる期待感からポンドが買われ、1.2280まで回復。結局1.2288レベルでNYに渡った。(ロンドン・ブリッジ 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、107.80近辺での小動きでスタートするが、前日の米9月ISM製造業景況指数の低調な結果やアジアや欧州株の下落を受けてリスクオフの円買いが進み、107.49まで下落し、107.53レベルでNYオープン。朝方は米9月ADP民間雇用者数が予想を下回り、8月分も下方修正される中、海外時間の流れを引き継ぎ、じりじりと下落する展開が続く。米景気後退への懸念が台頭する中、タリ平均の600ドル近い下げや、米長期金利が1.60%を割り込む動きを横目に、安値107.05まで下落。売り一巡後、107.20近辺まで値を戻し、明日と明後日に主要な米経済指標(PMI、ISM非製造業指数、製造業受注、雇用統計等)の発表を控える中、様子見ムードが強まったことから小動きとなり、結局、107.18レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、欧州主要国の株式市場が軟調推移を受けて下落したユーロ円に連れ安となり、1.0906まで下落。早朝にかけて米株先物の下げ幅拡大を意識したドル売りが加わり、ユーロが買い戻され、1.0929レベルでNYオープン。朝方は米9月ADP雇用統計の結果が予想を下回り、米金利も低下する中、欧米金利差縮小がユーロの買い戻しを誘い、一時1.0963まで上昇。買い一巡後は高値圏で小動きとなり、1.0959レベルでクローズ。本日は「WTOが米国の年間最大75億ドル相当の対EU報復関税を認めると判断」、「報復関税は18日発動予定」等とのヘッドラインが伝わったものの、ユーロドルの反応は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:加藤・原田